

科 目 名	環境衛生学特論				
担 当 教 員 名	教授 佐藤 雅彦 講師 李 辰竜	単位数	講義 2	配当学期	秋学期
講 義 の 概 要	<p>ヒトの健康に対して悪影響を与える環境有害因子について、それらの健康影響評価とその対策などを講述し、環境衛生学研究が果たすべき役割とその重要性について解説する。さらに、様々な環境有害因子の中で、カドミウム、水銀、ヒ素および鉛などの有害金属類に焦点を絞って、各種有害金属類による環境汚染並びに健康被害に関する現状を講述する。また、有害金属類の毒性発現機構やそれら金属類に対する生体防御機構について、個体（実験動物）、細胞および遺伝子レベルでの最新の研究情報を含めて概説する。</p>				
講義の内容・スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境有害因子の健康影響評価とその対策 2. 世界に広がる金属類汚染 3. 日本の公害歴史1（イタイイタイ病等） 4. カドミウムによる環境汚染と健康被害 5. カドミウムの毒性発現機構 6. トキシコゲノミクスを利用したカドミウム毒性の分子機構 7. 日本の公害歴史2（水俣病） 8. 水銀による環境汚染と健康被害 9. 水銀の毒性発現機構 10. ヒ素による環境汚染と健康被害 11. ヒ素の毒性発現機構 12. 鉛による環境汚染と健康被害 13. 鉛の毒性発現機構 14. 生体内防御因子としてのメタロチオネインの役割 15. 疾病予防とメタロチオネイン及びまとめ 				
評 価 方 法 (基 準 等)	レポート（70%）、口頭による質疑応答（日本語・英語）（30%）、及び出席状況（2/3以上の出席日数）による総合評価				